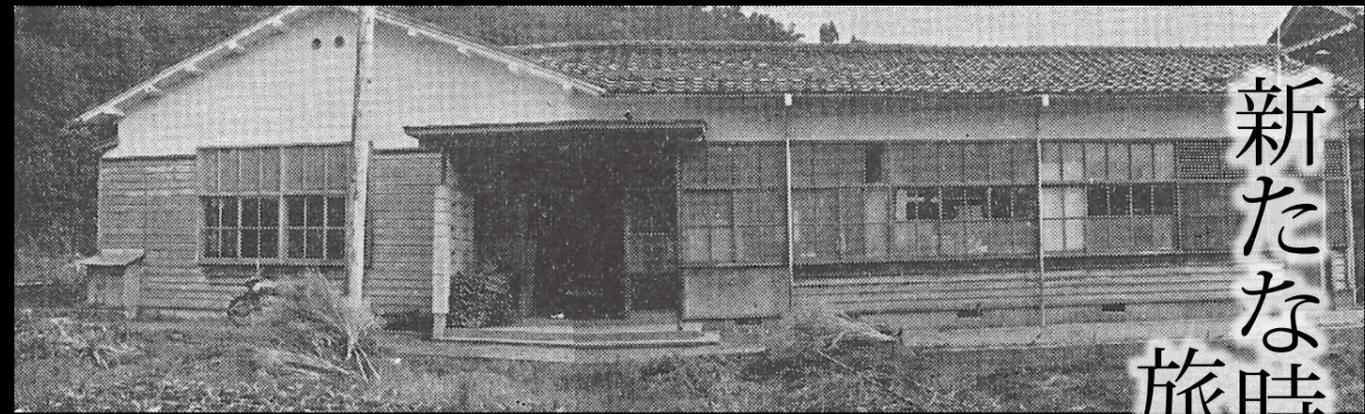


新たな時代へー 旅立ちの春



昭和33年に設立された高倉保育所（～昭和49年）

昭和33年4月設置された高倉保育所。3月26日、修了式・閉所式が行われ、平成の時代と共に幕を閉じました。

4月からの園児の減少で基準を下回ったことから閉所します。卒園者は今回の修了者4人を加え1370人にのぼります。

高倉保育所の浅井節子所長はこれまでを振り返り「支援やご協力に感謝です。地域の方との距離がとて近しい保育所」と話します。保育所活動への理解があり、季節のイベントや避難訓練などにも住民らが積極的に加わりサポートしてきました。

また、元氣あふれる園児の存在は地域住民にとっても大切なもの。フェンス越しに園庭で遊ぶ子どもたちをあたたく見守る姿もたびたび見られました。出会いと始まりの4月を「楽しみ」と話し笑顔を見せた子どもたち。新たな時代への希望を胸に「一歩」踏み出します。



楽しい笑い声が響きわたる



「第2の園庭」真脇遺跡公園をお散歩



フィールドワークは能登で 奮闘かかし作り

中央大学の谷下雅義教授のゼミで地域の特色を生かしたエコ・ツーリズムを研究する学生4人が2月24日、岩井戸公民館でかかし作りに挑戦しました。

段ボール、布などを加工し、3時間ほどかけ坂本龍馬などのかかし3体を作り上げました。初めて能登を訪れた山本大智さんは、「見る景色や住民の話などは、すべてが新鮮。体験を通し、この地域のためになることをしっかりと考えたい」と感想を述べました。

かかし作りは能登で年3回行われている実習の一つ。学生らは地域の住民から手ほどきを受けながら竹や



地域の方から教わりながら



完成!坂本龍馬



大きくはためく 友情の旗

たくさんの生徒が乗れる大きな旗



べた金を一枚一枚丁寧に貼り付ける

小木地区で5月に開催される祭礼「とも旗祭り」に向け、小木中学校の2年生は1月から小木地区町民研修センターでも旗作りに取り組んでいます。

2月21日は、学校間で交流を行っている柳田中学校の2年生も参加し、とも旗作りに汗を流しました。

この日は金銀の色紙を三角形に切った「べた金」を長さ20cm、幅2.6cmの旗に書かれた文字「航灯輝里海」に貼っていく作業を体験。下浜第二・第四の青壮年団「浜風会」のメンバーから指導を受けながら両校の生徒は協力して作業を進め、親睦を深めました。